

事務事業名	感染症予防対策事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5191	
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田 正文	
	☐ 実施計画事業		所属担当	健康企画		担当者名	志村 和美	
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目
政策	計画	18 健康づくりの推進	事業区分	01	一般	04	01	02
施策	体系	31 保健・医療の推進						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 21 年度 期間限定複数年度 ~ 年度)		法令根拠					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (22年度)				
	・さまざまな感染症のまん延に備えて、日頃より市民に対して感染症に対する予防啓発を行う。(広報、CATV、各関係機関を通してチラシの配布等を実施)			項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	
	・市で作成した感染症対策行動計画に基づいて迅速な対応をとる			報償費	0			
	・感染症予防対策委員会の実施(定例会1回/年及び緊急時)			需用費	119			
	・感染症予防研修会の実施等			委託料	0			
					計		119	

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績	感染症予防対策として、広報及びCATV等で、感染予防対策に関する啓蒙啓発。市内保育所に対し感染症対応マニュアルの作成
	23年度活動予定	各種感染症予防の啓蒙啓発活動(CATV、広報、チラシ等)、新型コロナウイルス等の発生時、感染症対策行動計画に基づいた迅速な対応
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	全市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	各種感染症の感染防止及び感染拡大防止	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	健康増進に対する意識を持ち、健康な生活を送ることができる	

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	市内全戸数	世帯数
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	全市民	人数
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	感染症に対する知識を持つ市民の割合	
	感染に備えて備蓄準備のある世帯	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒		

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		119	657	391	391	391	
		事業費計 (A)	千円	0	119	657	391	391	391	0
	人件費	正規職員従事人数	人							
		延べ業務時間	時間							
		人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	119	657	391	391	391	0
活動指標		アイウ								
		世帯数								
対象指標		アイウ								
		人数								
成果指標		アイウ								
上位成果指標		アイ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成21年度 鳥インフルエンザ等の感染の脅威を受け、国県をあげての対策が求められた。本市でも、日頃から啓発の必要な感染症の備え、感染拡大防止の対策が図られるようになった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	感染防止及び拡大防止のための、情報提供を持つことで、感染防止に対する意識が高くなってきた今後予測される猛威的な感染症にも迅速に対応していけるように対策の徹底強化
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	普段から、感染症に対する知識の普及啓発 驚異的な感染症が発生した場合、市民が混乱しないような対応。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☐ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☒ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成21年度より、より強化的に取り組んできた事業であり、今年度についても、感染症防止対策のための普及啓発。発生時迅速に対応できるような計画の確認
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	

事務事業名	感染症予防対策事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 市民の安全で健康的な生活を推進するための事業である
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] 全市民を対象に、感染症予防に対するための普及啓発は、安全で安心な健康生活を営む上で必要不可欠な事業であり公共関与は妥当である。
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 感染症はいつ発生し、蔓延するか予測がつかないものであるため、日頃から感染症に備えての準備は必要
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 発生時の対応等、具体的な動きが取れるような、行動対策マニュアルに基づいて、さらに詳細の対応マニュアルも必要ではないかと思われる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☒ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] 行動対策マニュアル等について、関係機関に周知徹底し、もしものときに迅速な対応をとる ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☐ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] ☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 感染症の予防、発生時の蔓延を防ぐためにもこの対応は、休止・廃止できない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 医薬材料費の有効期限等もあり、それらについては順次交換準備しなければならないため現状予算で対応
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 現状の対応が望ましいと考えるため削減余地はない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 市民全体に周知するために、ホームページ時、広報、CATV等の媒体を用いて公平平等に伝達している。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	感染症については、予防接種の重要性を認識して、予防接種を受けることで個人だけでなく集団の予防に繋がるのが重要であることを市民に啓発する。予防のため日常的に手洗い、うがい、咳エチケットなどを予防することを併せて啓発活動をしていく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☒ 成果向上 (有効性④の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果水準</td><td>向上</td><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><td>維持</td><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table>				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		※ 廃止・休止の場合は記入不要																						
①																								
②																								
③																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
①		成果優先度評価結果	⑥																					
②																								
③		コスト削減優先度評価結果	⑨																					